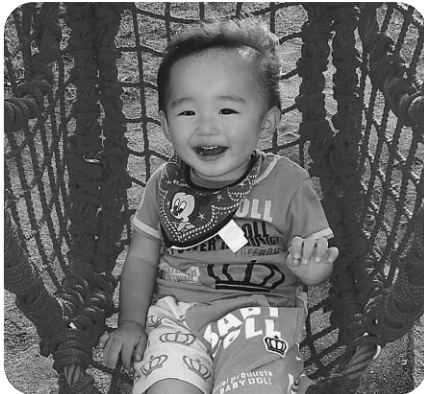


すこやかちゃん



ゆいか 結衣花ちゃん(平成21年3月1日生)
両親＝吉井純一・智未さん〔後草〕
「毎日元気いっぱいなゆいたん。
大好きなブランコに乗って超笑顔♡」



まなと 愛徳ちゃん(平成22年2月17日生)
両親＝島田勝利・洋子さん〔琴田〕
「いっしょにあそんで～!!」



まなか 愛華ちゃん・れんと 蓮斗ちゃん
(平成22年5月16日生・平成16年9月6日生)
両親＝長谷川雄司・聡子さん〔ハ〕
「お兄ちゃんが大好き!」

すこやかちゃんを募集しています

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、旭市保健センター、飯岡保健センター、秘書広報課にあります。



ふるさとの自然 冬の使者 コハクチョウ



寒さが本格的になると、シベリアからハクチョウの群れが日本各地に渡って来ます。市内にもここ数年、ハクチョウがやって来るようになりました。

○市内にはコハクチョウが渡来
日本にはオオハクチョウとコハクチョウの2種類が渡って来ます。市内で見られるハクチョウは体がやや小さいコハクチョウがほとんどですが、オオハクチョウも少し交じっています。

○住みやすい旭市で冬越し
市内にハクチョウの群れがやって来るようになったのは、平成17年の冬からです。この年の冬はとても寒く、北国の池や川は凍りついてしまいました。そのため、ハクチョウたちは、例年より南の地方に移動して冬を越しました。暖かくて食べ物の豊富な旭市は、住み心地が良かったと見えて、以来毎年やって来るようになり、多いときには500羽を超えるほどです。

○「夏目の堰」から出勤
ハクチョウは東庄町の夏目の堰で夜を過ごします。朝になると次々に飛び立ち、周辺の田んぼに出掛けて餌を取ります。餌は稲の二番穂や落ち穂、草の葉や根などです。くちばしを使って稲をしゃぐいて取ったり、泥の中の落ち穂をこし取ったりして食べます。そして夕方になると、また夏目の堰に帰って行きます。

○色が白くて命拾い
ハクチョウは全身真っ白ですが、もしも羽の色が白くなったらハクチョウの運命はどうなっていたでしょうか。同じ仲間のガンやカモは、良いカモとして人間に命を狙われ、食べられてしまいます。ハクチョウは体の色が白かったため、難を免れたと言えるでしょう。

(齊藤敏一)

暮らしのカレンダー

- 4日(土) 人権週間(～10日(金))
- 5日(日) 第6回あさひ寄席(午後2時～東総文化会館)
スターライトファンタジー(～25日(土))
- 10日(金) 冬の交通安全運動(～31日(金))
- 12日(日) 旭市民駅伝大会(午前8時～ 東総運動場)
- 23日(木) 天皇誕生日
- 28日(火) 市役所仕事納め

編集後記

気付けば12月号、今年もあっという間に1年が過ぎたような気がします。これからさらに寒くなり、外での取材は大変になりますが、その冷たい凛とした空気もまんざら悪いものでもない、と思います。

これから年末の大掃除に向けて、不要なものをこつこつと分けようかと考えています。例年、そうは思いつつも、仕分け始めると「思い入れがある」「もったいない」など、つい捨てられず、結局はあまり片付けられません。今年こそはがんばろう。わが家の仕分け人である妻に「要らないのはあなた」と言われたいように。(A)